



馬の学校

馬の学校通信

2008. 9 vol.31

発行 馬の学校

事務局 〒409-0115 山梨県上野原市松留 645 ハイム上野原 206 TEL/FAX:0554-63-5534

E-mail : mine@horseschol.org ホームページ : http://www.horseschool.org



秋のプログラム 参加者募集！！

ファミリープログラム (日帰り)

日程：10月25日(土) 午前10時半～午後4時 *小雨決行
 場所：ホーストレッキングわち(京都府船井郡京丹波町出野小字カジロ)
 対象：幼・小・中・高校生のお子さんとそのご家族(定員3家族)
 参加費：1家族 ¥15,000/1回(現地集合・解散)
 別途 食費 1人 ¥500

馬とのふれあいプログラム (約2時間)

日程：10月26日(日) 午後1時半～3時半 *小雨決行
 場所：わらしべ乗馬センター(枚方市王仁公園内)
 対象：小・中・高校生(定員4名) *原則として保護者同伴
 参加費：1人 ¥8,000(現地集合・解散)

馬とのふれあいプログラム (約2時間)

日程：10月5日(日) / 11月15日(土) / 12月13日(土)
 午前 10～12時 *雨天決行
 場所：服部緑地乗馬センター(豊中市服部緑地1-5)
 対象：小・中・高校生(定員4名) *原則として保護者同伴
 参加費：1人 ¥8,000/1回(現地集合・解散)
 *ふれあいプログラムはボランティアがマンツーマンでサポートします

★お申し込みは、会員の皆さまは9月14日(日)から、一般の方は17日(水)から、電話・FAX・メールにて事務局まで。

*留守番電話になっている場合は、お名前・ご希望のプログラム名をお伝えください。折り返し、こちらからご連絡いたします。

*服部緑地でのふれあいプログラムにつきましては、多くの方に参加いただけるよう、お1人様1回のお申し込みをお願いいたします。

9月20日以降、空きがありましたら、2回以上の参加も受け付けさせていただきます。

夏のプログラム 活動報告

ウマキャンプ (8/25～28)



協力してブラシがけ



フリーに挑戦中



そうじもがんばりました



ノアの前髪が変・・・?



草集めを終えて



最後の夜はバーベキュー

賛助会費をお振り込みいただいた方

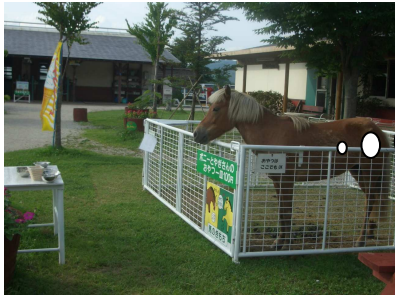
通信30号で、賛助会費をお振り込みいただいた方のお名前を掲載いたしました。以下の2名の方のお名前が掲載されておりませんでした。

和佐圭祐 岡田あゆみ (敬称略・順不同)

お二人にはご迷惑をおかけしましたことをお詫びし、改めてお礼申し上げます。



馬の写真館



だれか
くれない
かなあ…

目の前にあるおやつをじい〜っと見つめて
30分…。(ホースランド安曇野にて 岡本由紀子)

おすすめの本

『モザイクの馬』

講談社 小園江圭子 文 和田誠 絵

17個の馬のお話がつまっているかわいい絵本です。
お話好きの馬が話してくれる物語はユーモアと優しさか
にあふれています。うたう木馬や馬になったネズミ、ラク
ダに変身した馬……。常に「100人
が1回読む本ではなく、10人が10回
読んでほしい」とあるように、読めば読
むほど味わいのある物語です。



馬の競技 その2 (馬場馬術)

馬場馬術(ドレッシング)は、例えるなら「フィギュアスケート」のような競技です。20m×60mの長方形の馬場の中で、あらかじめ決められた場所で決められた演技をする『規定』と、ある程度決まった内容を自由に組み合わせ音楽に合わせて行う『自由演技』(フリースタイルまたはキュア)があります。

演技では馬の3種類の歩き方(常歩、速歩、駈歩)を使いますが、「バサージュ」「ピアッフェ」などと呼ばれる高度な技もあります。ただ歩くだけでも弾むように、優雅に、やわらかく、リラックスして正確に演技しなければなりません。また、乗っている人間の態度も審査の対象になり、できるだけ小さな合図で馬を動かすことが求められます。馬がまるで馬自身の意思で演技しているように見えるのが理想です。

特にヨーロッパの選手が強く、さまざまなスポーツの中でも馬場馬術は人気があります。現在の世界チャンピオンはオランダの女性で、北京オリンピックでも世界選手権でも優勝しています。(幸田 郁代)



(写真：社団法人日本馬術連盟HPより)

編集後記

9月に入っても残暑が続いています。ウマキャンプは例年8月上旬でしたが、今年は都合により8月25～28日となり、さすがに清里高原、涼しい中で快適にキャンプを行うことができました。

最近、多くの中学校では「職場体験学習」というのが行われています。私の姪が通っている中学校でも行われており、選べる職業は保育園、病院、警察署、新聞社ファーストフード店、レストラン、ホームセンター、スポーツ用品店・・・など多種多様。何回もウマキャンプに参加してすっかり馬にはまっている姪は、迷わず乗馬クラブを選んだそうです。そして牧場作業を行う際の手際の良さに、スタッフの方もびっくり!だったとか。たとえ数日間でも仕事の現場を見て、体験することは、子どもたちにとっても大きな影響を与えるのだと思います。ちなみに、私が中学生の時にこのような体験学習があれば、乗馬クラブか動物病院を選んでいただこう…。いつか馬の学校でも、職場体験学習の受け入れをして、子どもたちに様々なことを考えるきっかけとして貴重な体験をしてもらえたら、と思います。

(峯崎 友香理)